

公益社団法人 日本水産学会
平成 30 年度第 2 回理事会議事録

- 1 開催された日時 平成 30 年 3 月 26 日 (月) 15 時 01 分 ~ 16 時 51 分
- 2 開催された場所 国立大学法人 東京海洋大学 品川キャンパス 白鷹館多目的スペース (1)
- 3 理事総数及び定足数

総数 20 名, 定足数 11 名

- 4 出席理事数 14 名

(本人出席) 荒井克俊, 荒井修亮, 菅野信弘, 木島明博, 黒倉 寿, 佐藤秀一, 青海忠久,
塚本勝巳, 萩原篤志, 安井 肇, 良永知義, 和田時夫, 岡崎恵美子, 山下 洋

(監事出席) 青木一郎, 北田修一

(幹事出席) 濱崎活幸, 芳賀 穰, 糸井史朗, 岩田繁英, 小林武志, 近藤秀裕

(オブザーバー) 矢澤良輔 (会計幹事候補者), 福島英登 (庶務幹事候補者),
渡邊良朗 (平成 30 年度春季大会実行委員長, 途中 15:06 に退席)

- 5 議 案

決議事項

第 1 号議案 「名誉会員落合 明氏の追悼文」の件

第 2 号議案 「水産学シリーズの中国語翻訳出版」の件

第 3 号議案 「入会承認」の件

報告事項 第 1 回理事会以降の職務執行の状況

その他

- 6 議事の経過及びその結果

- (1) 平成 30 年度春季大会実行委員長挨拶

塚本会長の挨拶の後, 東京大学大気海洋研究所教授 渡邊良朗大会実行委員長より挨拶があった。

渡邊良朗大会実行委員長より, 本大会の概要について, 次の報告があった。

- ・ 事前登録者数 996 名で, 当日登録者を加えると参加者が 1100 名超と予想している。
- ・ 口頭発表は 476 件 (昨年 491 件), ポスター発表は 256 件 (昨年 254 件), 高校生によるポスター発表は 78 件 (昨年 56 件) である (口頭発表とポスター発表の合計発表数は昨年度より若干減少したが変動の範囲内である)。
- ・ 高校生ポスター参加者増加に伴い, 高校生ポスターをオンラインで登録するシステムを変更した。
- ・ シンポジウム 5 件, ミニシンポジウム 2 件, 講演会 2 件の他, 各種セミナーおよび関連学会, 研究会が大会期間中に開催される。
- ・ 高校生に対して最優秀賞 1 件, 優秀賞 1 件, 奨励賞 10 件を贈呈する予定である。商品はベルソーボックスを贈呈する。

- (2) 定足数の確認等

塚本会長が定足数の充足を確認し, 続いて本会議の議事進行について説明があった。

- (3) 議案の審議状況及び議決結果等

定款の規定に基づき, 塚本会長が議長となり, 本会議の成立を宣言し, 議案の審議に移った。

(決議事項)

第1号議案 「名誉会員落合 明氏の追悼文」の件

良永総務担当理事より、名誉会員落合 明氏の追悼文について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で可決した。

第2号議案 「水産学シリーズの中国語翻訳出版」の件

木島出版担当理事より、水産学シリーズの中の3冊に関して、中国語への翻訳出版について原案の説明があった。

本議案について、以下の質疑応答があった。

荒井(克)理事「翻訳する際の内容のチェックは誰がどのようにするのか。」

木島理事「チェックは恒星社厚生閣と打ち合わせを進めていく。現地の関連分野に知識のある人、日本の関連分野に知識のある人に内容の確認をしてもらうことになる。」

黒倉理事「印税の前払金の18万円は妥当であるか。」

木島理事「18万円は、中国内の出版社と正式に契約することで、海賊版がでないようにするための金額である。この金額に関する相場はわからない。この金額が妥当であるか詳細を提示して、精査するように努める。」

和田理事「尖閣諸島に関する問題等の政治的な取り扱いが必要な内容が含まれるのであれば注意した方がよい。」

木島理事「領土問題に関わる内容はないと思うが、指摘された点についてチェックをするように気を付ける。」

青海理事「翻訳内容のチェックに関してはどのようになっているのか？」

木島理事「今後恒星社厚生閣と相談することになる。」

良永理事「印税実質部数払い7%というのはどういうことか。18万円の印税前払金とは何か。」

木島理事「印税前払金が18万円で販売実績によって7%分の余剰が入ってくるものだと解釈している。」

審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

第3号議案 「入会承認」の件

審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

(報告事項)

第1回理事会以降の職務執行の状況

・会長

塚本会長 特になし。

・庶務関係

良永担当理事より、次の報告があった。

1) 協賛について

共催、協賛、後援の取り扱いの申し合わせ 3)を適用した。

第61回海中海底工学フォーラム

主催 海中海底工学フォーラム運営委員会

共催 東京大学生物技術研究所(生研研究集会)

協賛 日本船舶海洋工学会 他6団体

日程 平成30年4月13日(金)

場 所 東京大学生物技術研究所 An 棟 2F コンベンションホール「ハリコット」(東京都目黒区)

希 望 協賛

負担金 なし

・企画広報関係

佐藤担当理事 特になし。

・財務関係

萩原担当理事より，総会で報告する内容を取りまとめている旨の報告があった。

・編集関係

黒倉担当理事より，1月31日に委員会を開催した旨の報告があった。

・学会賞関係

荒井(克)担当理事より，3月27日に委員会を開催し，委員長と副委員長を決定する旨の報告があった。

・シンポジウム関係

木島担当理事より，3月27日に委員会を開催する旨の報告があった。

・出版関係

木島担当理事 特になし。

・水産技術誌監修関係

和田担当理事 特になし。

・国際交流関係

和田担当理事より，3月27日に第1回委員会を開催する旨の報告があった。

・水産教育関係

荒井(克)担当理事より，次の報告があった。

1) JABEE 本部から動向の報告があった。

2) 委員会を3月26日に開催し，平成29年度事業報告と平成30年度事業計画が承認された。

3) 委員会終了後，水産高校の校長との勉強会を開催した。

・水産政策関係

黒倉担当理事より，3月29日に第1回委員会を開催する旨の報告があった。

・漁業・資源管理関係

荒井(修)担当理事より，次の報告があった。

1) 委員会を3月26日に開催し，平成29年度事業報告と平成30年度事業計画が承認された。

2) 漁業懇話会講演会を3月26日に開催した。

・水産利用関係

菅野担当理事より，3月28日に委員会を開催する旨の報告があった。

・水産増殖関係

木島担当理事より，3月29日に第1回委員会を開催する旨の報告があった。

・水圏環境関係

山下(洋)担当理事より，次の報告があった。

1) 委員会を3月26日に開催し，平成30年度事業計画と予算が承認された。

2) 秋季大会のシンポジウムに関してはまだ決定していない。春季大会ではシンポジウム「東日本大震災復興事業による沿岸域改変が沿岸域周辺の生態系対産業にどのような影響をもたらすか(仮)」を開催予定である。

3) シンポジウムのバッティングを避けるために、各委員会においてシンポジウムの企画が確定する前に学会事務局にシンポジウム案を連絡するように依頼した。

・男女共同参画関係

岡崎担当理事より、次の報告があった。

1) ランチョンセミナーを3月29日に開催予定である。

2) 新しい委員を迎えて、第1回委員会を開催する。

・水産学若手の会関係

塚本会長より、3月27日に委員会を開催する旨の報告があった。

・社会連携関係

古丸担当理事 特になし。

・将来計画関係

青海担当理事 特になし。

・北海道支部、地域連携関係

安井担当理事 特になし。

・東北支部、地域連携関係

塚本会長 特になし。

・関東支部、地域連携関係

菅野担当理事 特になし。

・中部支部、地域連携関係

塚本会長 特になし

・近畿支部、地域連携関係

荒井(修)担当理事 特になし。

・中国・四国支部、地域連携関係

塚本会長 特になし。

・九州支部、地域連携関係

塚本会長 特になし。

・英文書籍監修委員会(特別委員会)

佐藤担当理事 特になし

・東日本大震災災害復興支援検討委員会(特別委員会)

山下(洋)担当理事 特になし。

・日本水産学会創立85周年記念事業委員会(特別委員会)

青海担当理事 特になし。

・財務検討委員会(特別委員会)

萩原担当理事 特になし。

・水産・海洋科学研究連絡協議会関係

塚本会長 特になし。

その他確認事項

・平成30年度定時社員総会資料の確認

良永総務担当理事と萩原財務担当理事より，平成 30 年度定時社員総会資料の説明があり，平成 29 年度事業報告及び会計報告，並びに平成 30 年度事業計画及び予算案を出席理事全員で確認した。

・委任状の回収について

良永総務担当理事より，平成 30 年度社員総会の委任状の提出状況について現状が報告され，総会成立に向けて理事に対して回収の協力依頼があった。

・次回の理事会について

塚本会長より，平成 30 年度第 3 回理事会を 3 月 28 日 16 時 45 分より東京海洋大学品川キャンパス(100A 教室)で開催する予定であることを確認した。

以上をもって議案の審議等を終了したので，16 時 51 分，議長は閉会を宣言し，解散した。

以上，この議事録が正確であることを証するため，出席した議長（代表理事）及び監事は記名押印する。

平成 30 年 3 月 26 日

公益社団法人 日本水産学会

議長 会長（代表理事）

監 事

監 事